

The Atlee Sons

Leading the Way in Type

アトリー息牛：体型を先導 <後編>

Holstein Journal 2013年8月

著：Bonnie Cooper

“アットウッド”、“アーデン”、“アトランティック”

セレクト サイアーズは今日、アトリーから誕生した三頭の“ゴールドウィン”息牛をその種雄牛名簿に掲げている。“アットウッド”、“アーデン”、“アトランティック”である。セレクト サイアーズのデイリー サイアー アナリストであるブライアン ギャリソンはセレクトがアトリーの息牛を獲得した理由について、このカウファミリーが持つ素晴らしい体型を伝達する能力を彼らが称賛したからだという。「彼女たちはショウカウであり、また、ショウの日だけでなく日々生産的である正しい牛でもある。アトリーはまた、素晴らしい体型に加えてその方程式に“ダーハム”を組み込んだ。そして彼女は CTPI (Cow Total Performance Index : 経産牛 TPI リスト) においても好位置にランクする数少ない“ショウカウ”の一頭でもあった。

ギャリソンは、三頭のアトリー息牛は皆ヤング種雄牛として大きな関心を集めたと言う。「アーデン」はセレクト サイアーズの Program for Genetic Advancement in Canada (PGAC : カナダにおけるヤングサイアー プログラム) を通して利用された。“アトランティック”と“アットウッド”は、彼らが持つ体型の素晴らしいジェノミック評価と、その体型数値に更なる信頼を加える人気で一貫したブリーディング カウ ファミリーにより、セレクト サイアーズのスーパー サンプラーズとして非常に人気だった。時が経過し、“アットウッド”と“アトランティック”の人気は続いた。それは酪農家とブリーダーが初期の娘牛を好み、また、両頭ともその優秀な繁殖力に対し評判を得たからだ。彼らの評判は現在、搾乳娘牛と共に続いている。“アットウッド”も“アトランティック”も、セレクト サイアーズが提供する最人気種雄牛の一員になるだろう。」

“アットウッド”は現在、カナダの体型ランキングを+19でリードする。彼の体格審査済み娘牛 492 頭の内、驚くべき 91%がグッドプラス以上を記録し、187 頭がベリーグッド、261 頭がグッドプラスである。米国で“アットウッド”は、PTAT+4.57で体型ナンバーワンである。「“アットウッド”娘牛は、若牛として素晴らしいフレームを持つ」とギャリソンは言う。「乳用強権性と優れた乳器及び肢蹄がそれに組み合わせる。彼は座骨を上げるだろうし、兄弟の“アトランティック”よりももう少し強さを加えるだろう。“アットウッド”は、“ダミオン”、“サンチェス”、“ブラクストン”、“デザイン”、“ダンディー”の娘牛もしくは孫娘牛によく合うはずである。彼はその繁殖力においても素晴らしい評判を持ち続けている。」

ギャリソンはこう続ける。「“アットウッド”はホルスタインのエリート体型種雄牛として急速にブリーダーの尊敬を得ている。彼は既にショウリングに一流の牛を作出しており、彼女たちは成牛になるにつれ更にもっと素晴らしい牛へと成長すると私は確信している。」



メープル ダウンズ IGW アットウッド
(EX90-USA-ST)

八頭の“アットウッド”娘牛が既にオールカナディアンにノミネートされ、オールカナディアンを一つ、リザーブを二つ、オナラブルメンションを三つ獲得している。“アットウッド”による昨年のジュニア二歳オールカナディアン及びオールアメリカンがBVK アットウッド アリアンナ ET (VG89-2YR-USA) で、彼女はマディソンとロイヤル両方で勝ち、彼女の母がミス キングステッド チーフ アディーン (アトリーの祖母) であるために、このファミリーの遺伝子を二倍持っている。未経産クラスでは“アットウッド”のこれまでににおける最も特筆すべき勝利牛の内の二頭が、2011年サマーイヤリングのオールアメリカン及びリザーブ オールカナディアンであるキングスウェイ アットウッド デリケート (VG87-USA) と、2012年4Hジュニアイヤリングのリザーブ オールカナディアンのジェイコブズ アットウッド リリー ボーイである。

「“アットウッド”はこれまでも、そしてこれからもショウリングの希望の星で居続けるだろう」とギャリソンは言う。「彼にはまた、素晴らしいジェノミック予測値を持つ体型の良い息牛が存在する。そのため、品種に与える“アットウッド”の影響は膨らみ続けるだろう。」

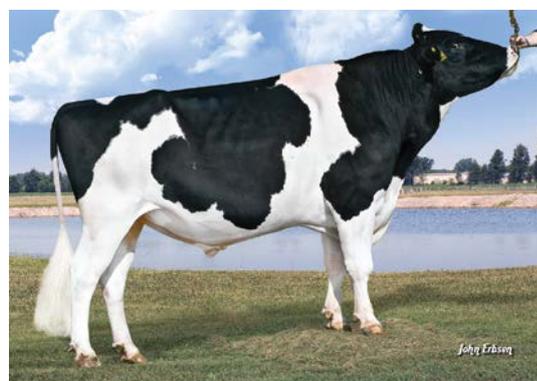
“アットウッド”の印象について聞かれると、スティーブ ベルサーズはこう答える。「一言でいうと“極限”だ。体高、体長、そして何より重要な後乳房の幅と高さを一世代で改良する彼の総合的な能力は見事だ。彼はアトリー、“ゴールドウィン”、そして“ダーハム”の最も優れた部分を確かに引き継いだ種雄牛である。」

スティーブとポール ベルサーズは、当初“アットウッド”をクリーンナップ種雄牛として使っていた。なぜなら彼らは既に授精所に行ったフル兄弟を使っていたからである。彼らは現在20~25頭の“アットウッド”娘牛を搾っている。「皆、彼女たちを見分けられる。未経産においても同じだ。“アットウッド”娘牛は最も体高・体長がある未経産牛だ」とスティーブ ベルサーズは言う。「我々のフリーストール パーラーで搾乳する時、“アットウッド”娘牛は“ゴールドウィン”娘牛のような完璧な乳頭サイズと乳頭配置をし、アトリーの平骨と高い後乳房、そして“ダーハム”のバランスの良さと絹のような特徴を持つ。しかし同時に頭に入れておかなければならないのは、彼の寛の位置に注意が必要な点だ。彼の二産目の娘牛と彼女たちの気質及び生産能力を見たことにより、我々は寛の位置が正確な牛群に“アットウッド”をより多く使用するだろう。」

“アットウッド”のフル兄弟“アーデン”は現在、+14でカナダの体型第10位タイである。彼の84頭の体格審査済み娘牛の内、83%以上がグッドプラス以上で、12頭がベリーグッド、58頭がグッドプラスである。控えめな乳量の種雄牛である彼の搾乳娘牛は“アットウッド”娘牛ほどの牛ではないが、バランス、乳器、肢蹄においてはポイント稼ぐ！」とギャリソンは言う。

もともと米国でサンプルに掛けられた“アトランティック”は、まだカナダ成績を得ていない。カナダにおけるMACE評価では、彼は体型+14である。この国で体格審査済みの娘牛48頭の内、83%がグッドプラス以上であり、10頭がベリーグッド、30頭がグッドプラスである。米国では“アトランティック”は体型+3.06である。「“アトランティック”は鋭角的で、骨格が鮮明な質の良い乳用牛を生産する」とギャリソンは言う。「彼女たちは“アットウッド”娘牛よりも乳用性があり、より鋭角的な傾向にある。彼女たちは牛乳の生産が好きなように見えるが、同時に素晴らしい付着と正確な乳頭サイズ・形・そして配置の伴う形状の良い若々しい乳器を持つ。“アトランティック”もまた座骨をやや高くするだろう。“アトランティック”は、より幅があり、より強さがあり、よりパワフルなタイプの牛に使うと最も良い。」

セレクト サイアーズの三頭のアトリー息牛を熟考し、ギャリソンはこう話す。「これら種雄牛三頭が皆予測通りの体型を伝達するのを見るのは素晴らしいことだ。ブリーダーや酪農家が一年365日牛舎に行って搾乳するのが楽しみな正しい牛を、三頭が皆作出している。様々な方法で利益性のある、トラブルフリーで長生きする牛を作出することにより、彼らは品種に影響を与えるだろう。」



メープル ダウンズ IGW アトランティック (VG-USA)

“アティック”と“アティカス”

シーメックスのサイアーアナリスト、ジュリアン シャボーは、「アトリーの“ゴールドウィン”息牛“アティック”と“アティカス”を購入することはシーメックスにとって非常に簡単な決断だった。アトリーは当時ホルスタイン品種において最も人気の若牛の一頭だった。そしてアトリーの“ゴールドウィン”受精卵は、シーメックスが2005年に最初に管理したセール オブ スターズでベルサース ファームズによって購入された。」

“アティック”はシーメックスのデザイナー シリーズ プログラムを通じてサンプルに掛けられ、一方“アティカス”はシーメックスの通常のサンプリング プログラムを終えた。二頭の比較についてシャボーは、「“アティック”は体高があり、伸びがあり、スタイリッシュでシルキーな娘牛を作出する。彼は二頭の中では簡単に“よりショウタイプ”になる。“アティカス”はそれほど高さはないが、より良い乳器とより強い肢蹄をした娘牛を作出する。両種雄牛とも尻の正確なより強いタイプの牛に使われるべきである。“アティック”の最高得点娘牛は、“アストロノミカル”、“デリー”、“アレン”、“サミュエロ”といった種雄牛による、強さを持つ牛から誕生している。カナダにおける“アティック”の最高得点娘牛、エルムクロフト アティック レディー (VG88) がそれを証明する。2010年4H インターミディエイト カーフのオナラブル メンション オールカナディアンである彼女は、“アストロノミカル”娘牛から誕生している。

“アティック”は現在、体型+12である。カナダで体格審査済みの娘牛462頭の内、83%がグッドプラス以上で、98頭がベリーグッド、284頭がグッドプラスである。“アティック”にはオールカナディアンにノミネートされた娘牛が五頭おり、その内三頭がオナラブル メンションを獲得している。その一頭がチャーウィル アティック マーシー (VG88-2YR-USA) で、ミルキング イヤリングとしてオナラブル メンション オールカナディアンを獲得し、またオールアメリカンにもノミネートされた。この4月、マーシーはニューヨーク インターナショナル スプリング ショウでシニア二歳の一位になり、インターミディエイト チャンピオンに輝いた。

“アティカス”は現在+14でカナダ体型第10位タイである。体格審査済み239頭の娘牛の内、82%がグッドプラス以上である。彼は既に一頭のエクセレント、54頭のベリーグッド、そして142頭のグッドプラス娘牛を持つ。彼の最初のエクセレント娘牛はベンレイモ アティカス リゾン (EX92) で、彼女は“スパート”娘牛を母に持つ。

「この二頭でシーメックスは20か国に精液を販売し、その販売は今も継続している」と、シーメックスのグローバル マーケティング副社長ブラッド セイルスは言う。「これは“ゴールドウィン”×“ダーハム”の交配に対する強い需要によるものであり、事実彼らは高い乳成分、高脂肪・蛋白率を提供する。世界中で我々は、両種雄牛が非常に良い仔牛を残していると聞いている。」

ユニークな存在

アトリーと彼女の息牛は、今日のホルスタイン ショウリングに多くの興奮を生んでいる。セント ジェイコブズ ABC のティム アボットは最も上手く言う。「アトリーは体型伝達に関してユニークな存在であることを証明している。彼女に更に多くの息牛が居ないのは不運なことである。この冬と春の出張中、私は非常に驚いた……。米国及びカナダで見た、胸躍らされる未経産もしくは若い経産牛のほぼ全てがアトリー息牛によって生産されたものだった。体型を伝達する彼女の能力は、ホルスタイン品種の歴史に残る他の牛と同じくらい強いようである。■



オーリンデール I アティック (GP-ST)



オーリンデール I アティカス (GP-ST)